

らち 良知しゅんいち 活動報告



第15号

ご挨拶

日頃より温かいご支援と率直なご意見をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。
この冬は、久しぶりに「冬らしい冬」だったと感じられた方も多いのではないのでしょうか。冷たい風が吹き、朝晩はしっかりと冷え込み、厚手の上着が手放せない日が続きました。晴れた日の澄んだ空気や、張りつめたような寒さの中で、季節の巡りを改めて実感する冬となりました。

地域を歩く中でも、寒さへの備えや体調管理、交通安全への配慮など、日々の暮らしに直結する声を多く伺いました。こうした日常の積み重ねこそが政策の原点であると、改めて感じています。

本号では、最近実現した施策や、皆さまからの声を受けて形になった取り組みについてご報告いたします。小さくとも確かな前進を一つひとつ積み重ねていくことが、地域の安心と発展につながると信じています。

引き続き、現場の声を大切にしながら、着実に取り組んでまいります。今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

実現した取り組み

このたび実現した取り組みについてご報告いたします。

事務所のご案内



〒431-1304
静岡県浜松市浜名区細江町中川7172-698
ラトゥール101

静岡県議会議員

らち
良知しゅんいち事務所

連絡先

TEL : 053-523-7400
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com
URL : https://rachi-shunichi.jp/

PROFILE

1982年 ● 8月14日生まれ
1995年 ● 気賀小学校 卒業
1998年 ● 細江中学校 卒業
2001年 ● 浜松商業高校 情報処理科 卒業
2005年 ● 静岡大学 情報学部 卒業
2007年 ● 静岡大学大学院 情報学研究所 修了
2018年 ● 株式会社 リムコーポレーション 退社
(研究開発に従事)
2019年 ● 静岡県議会議員 初当選
(浜松市北区(現浜名区) 選出: 現在2期目)
2024年 ● 静岡大学情報学部 客員教授 就任
● 役職歴 総務・産業・厚生委員会副委員長、
日印友好議員連盟事務局長 等

● 社会活動
浜松市消防団北支団第1方面隊細江第4分団 分団員
細江町まちづくり協議会 顧問
浜松市子ども会連合会北区支部 顧問
浜松商業高校後援会 理事 等



● 釣橋川・宇利山川河川改良工事

昨年の県議会9月定例会本会議の一般質問にて、以下の項目を質問しました。

Q
要約

【釣橋川流域の治水対策について】

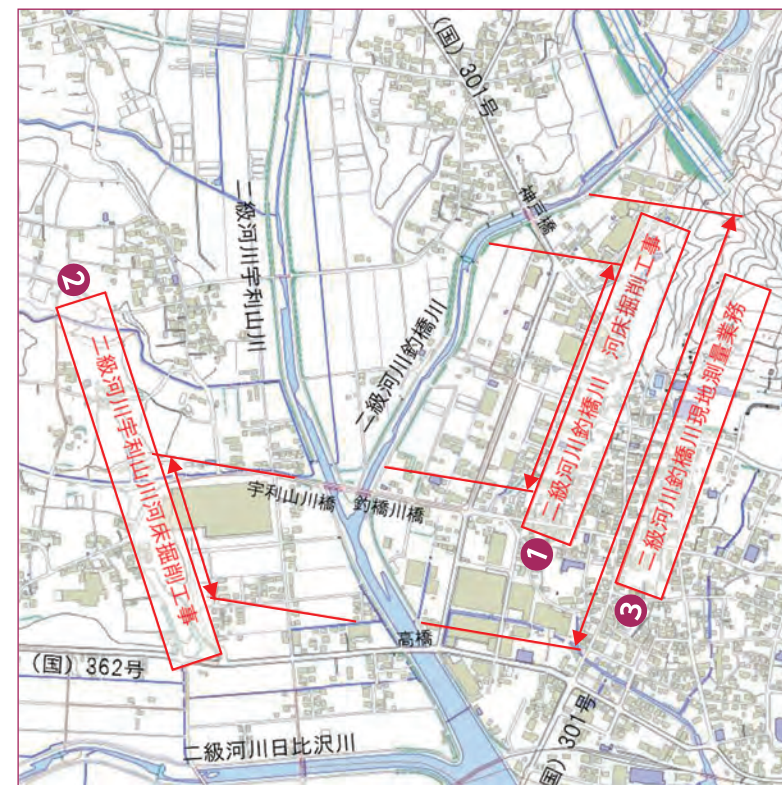
近年、全国各地で浸水被害が頻発しており、県内でも台風等による被害が発生している。浜松市浜名区三ヶ日町を流れる釣橋川流域では、令和5年の台風第2号等に伴う大雨で御園地区を中心に浸水被害が発生し、その後も台風時に避難指示が発令されるなど、地域住民の不安が高まっている。河川能力の向上など抜本的な対策を求める声もある中、釣橋川流域の治水対策について県の今後の対応を問う。

A
要約

釣橋川流域では、上流の山地で降った雨が短時間で流れ下るため、下流域では水位上昇や土砂の堆積が起こりやすい特性がある。県では、局所的な浚渫に加え、一連の区間で河道掘削を行い、河川水位を下げる対策を進める。また、浜松市が検討する支川の排水対策と連携し、内水被害の軽減にも取り組む。これらの対策を通じ、流域の安全度向上を図っていく。

地元の自治会連合会からの強い要望もあり、結果として釣橋川・宇利山川の河川改良工事が行われることとなりました。
確定している事業とその場所は以下のとおりになります。

- ※ ①②：河床掘削工とは川底を掘り下げて水が流れやすくする工事です。
- ※ ③：令和8年度以降の事業のための測量業務です。



- ① 令和7年度
 - 二級河川釣橋川
河川改良工事(河床掘削工)
 - 期間：令和8年3月
～ 令和8年5月29日
- ② 令和7年度
 - 二級河川宇利山川
河川改良工事(河床掘削工)
 - 期間：令和8年3月
～ 令和8年5月29日
- ③ 令和7年度
 - 二級河川釣橋川
河川調査に伴う測量業務委託
 - 期間：令和8年1月8日
～ 令和8年3月24日

令和7年度内に前倒しして事業を進めております。継続的に事業を行うための調査業務(③)にも予算がついたため、さらなる治水対策が期待されます。

● 奥浜名湖展望台の再建

新聞等でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、細江町と三ヶ日町の境目付近にある「奥浜名湖展望台」が再建され、令和8年2月7日に一般公開されました。旧展望台は平成14年に県によって設置されましたが、老朽化のため平成31年に立ち入りが禁止され、その後令和3年に撤去されていました。

展望台の再建については、地元自治会や観光協会、商工会、まちづくり協議会、農業協同組合、子ども会連合会など、多くの地元団体から県に対して要望が出されており、地域の皆さまの強い思いがありました。私が県議になりたての頃にも、地元の方から再建に対する熱い思いをお聞かせいただきました。

私自身も現地に何度も足を運び、奥浜名湖を一望できる眺望の素晴らしさを改めて実感しました。こうした地元の声を受け、観光協会の方とも意見を重ねながら、県当局に対して再建を求める要望を伝えてきました。

費用面の課題もあり、同じ形での再建は難しいのではないかと考えていましたが、このたび旧展望台の雰囲気を受け継ぐ形で見事に再建され、大変嬉しく思っています。奥浜名湖の景観を楽しめる新たな観光拠点として、今後多くの方に親しまれる場所になることを期待しています。



国道 362 号線を三ヶ日方面から細江方面へ進むと見えてくる景色です。寸座駅北東の交差点を山側へ入った先にあります。看板とカーブミラーが目印です。



駐車場は広々としています。



取り壊し前の姿を受け継ぐ形で再建されました。



浜名湖北部の景色を一望できます。

● 県立高校に対する寄付制度設立への取り組み

この件も、昨年の県議会9月定例会本会議の一般質問で取り上げました。

【 県立高校への寄附受入制度の創設について 】

Q
要約

私立高校の授業料実質無償化が令和8年度から始まる中、公立高校との教育環境、とりわけ施設・設備面での格差拡大が懸念される。県立高校が今後も魅力ある進学先であり続けるためには、学習環境の充実と安定的な財源確保が重要である。卒業生や地元企業などから母校を支援したいとの声もあるが、県立高校への寄附制度は十分に整備されていない。そこで、県立高校への寄附受入れ制度の創設について教育委員会の考えを伺う。

A
要約

県立高校への寄附は現在、企業寄附や「ふじのくに応援寄附金」などにより基金で受け入れているが、特定の高校名や用途を指定した寄附制度は整備されていない。このため寄附は同窓会等を通じて行われることが多く、税制上の控除が受けられない課題がある。今後は、ふるさと納税などの活用も含め、寄附者の思いが学校支援につながる仕組みについて、他県の事例も参考に制度創設に向け検討を進めていく。

結果として、県立高校への寄附を促進する仕組みについて、令和7年度2月定例会において、その受け皿となる基金を設けることとなりました。県では、これまでの「ふじのくにグローバル人材育成基金」を拡充し、新たに「静岡県教育応援基金」を創設する予定です。

この基金は、県立学校や県内私立高校等の教育活動に活用できるようにするもので、個人のふるさと納税や企業からの寄附などにより広く支援を受け入れる仕組みです。ふるさと納税を活用した寄附の場合、税制上の控除を受けることができるため、卒業生や地域の方々、企業などが母校を支援しやすくなります。

寄附者は、特定の学校を指定して支援することも、教育全体の振興を目的として寄附することも可能です。寄附された資金は基金に積み立てられ、学校が作成する事業計画などを審査したうえで、教育活動の充実や施設・設備の整備などに活用されます。

この仕組みにより、寄附者の思いを教育の充実につなげるとともに、県立高校などの魅力向上や特色ある教育活動の推進が期待されています。

県としては、この基金を通じて寄附者の思いを教育の充実につなげるとともに、県立高校などの魅力向上や特色ある教育活動の推進を図っていく方針です。

お知らせ

お話しませんか？

私と1～数人でお話しませんか？
内容はなんでも結構です。身の回りの困りごとやご相談、私のこれからの社会に対する考えなど…。
お話の場を通じて政策へのひらめきが生まれることもありますので、ぜひお気軽にご連絡ください！
事務所への電話やメール、ホームページからの問い合わせなど、ご連絡方法は問いません。(連絡先は表面)



ラジオで県政情報を発信しています。

番組名：KENGI DE Night！ 放送局：FM Haro! (76.1MHz)
担当日時：第1月曜日 19時30分～20時00分